

登録コード	A3594323		開講年度	2026			
授業科目	専攻研究Ⅰ					担当教員	鏡味 裕
英文授業名	Thesis ResearchⅠ						
単位数	2	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	3年生（研究室配属後の学生対象）
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	2022アカリ，2021アカリ，2020アカリ，2019アカリ						
	【2022年度以前かきゅう対象】専門的な知識や研究能力を修得している				⇔	幹細胞発生の基礎を学ぶ。	
	【2022年度以前かきゅう対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している				⇔	幹細胞発生の基礎を学ぶ。	
	2026A3編（24A），2025A3編（23A），2024アカリ，2023アカリ						
	【2024年度以前かきゅう対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。				⇔	幹細胞発生の基礎を学ぶ。	
	【2024年度以前かきゅう対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。				⇔	幹細胞発生の基礎を学ぶ。	
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化、環境共生、健康長寿、キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	幹細胞制御に関する基礎技術を修得する。 テーマ： 1）幹細胞の定義 2）鳥類キメラ作出 3)希少・絶滅危惧鳥類再生 3）新生肉・転換肉創出						
(5)授業計画	1）幹細胞研究情報の収集 2）キメラ作出操作 3）希少鳥類・絶滅危惧鳥類の認識 4)幹細胞工学による鳥類再生 5)鳥類再生に関する国際共同研究プロジェクト紹介 4）新生肉・転換肉創出						
(6)自主学習の指針	課題に積極的に挑戦し新規の知見が得られる様に最善を尽くす。						
(7)成績評価の基準	下記基準で評価を行う。 秀S:達成目標の水準から見て卓越している 優A:達成目標の水準よりかなり上にある 良B:達成目標の水準よりやや上にある 可C:達成目標の水準にある 不可D:達成目標の水準よりやや下にある、またはかなり下にある						
(8)事前事後学習の内容	着実な研究実施と得られて結果に関する考察を随時継続する。						
(9)テストやレポートの予定	適宜指示する。						
(10)成績評価の方法	研究遂行能力。レポート提出。						
(11)質問、相談への対応および連絡先	e-mail: kagami@shinshu-u.ac.jp 内線： 2410						
(12)履修上の注意	自主的に研究課題にとり組み、できる限り独創的な研究成果が得られる様に頑張る。 なほ、各安全講習会、を必ず受講すること。						
【教科書】	教科書指定無し（必要に応じ資料等周知・配布）						
【参考書】	*鏡味裕・柏崎直己（2005）日本畜産学会創立100周年記念誌（日本畜産学会編） *Development（2026） *Stem Cells（2026） *Nature（2026） *Science（2026） *Cell（2026） *Biology of Reproduction（2026）						